

英語論文誌 **Radiological Physics and Technology** への投稿のお願い

日本医学物理学会 会長 金井達明

日本医学物理学会と日本放射線技術学会の両学会は、このたび、英語論文誌 **Radiological Physics and Technology** を共同で刊行することを決定しました。なお、この英語論文誌は、日本放射線技術学会により出版され、両学会員に配布されます。**Radiological Physics and Technology** の創刊号は、2008年1月に発刊される予定です。この英語論文誌は、今後の両学会の発展と多くの学会員の学術レベルの向上のために重要な役割を果たすことが期待されています。この論文誌は、医療における放射線物理および技術に関連した、主として、日本国内で実施された研究成果を、世界に向けて発信することを大きな目標の一つにしています。

日本医学物理学会は、すでに和英文混合の論文誌「医学物理」を発行しており、最近では、英語による論文の数は増加しています。しかし、世界の多くの方々に、日本医学物理学会の会員による研究成果を理解していただき、さらに、日本医学物理学会の多くの会員が、外国の研究者達と積極的に意見交換をするためには、英語論文を専門に出版することが必要です。世界中には、すでに多くの英語論文誌がありますが、医学研究基盤としての医学物理学と臨床現場に役立つ放射線技術学を融合する視点からの英語論文誌は有用と考えられます。さらに、研究成果を国際的に認知してもらうためには、英語論文を書くことが不可欠であり、英語論文誌の出版が必要であると信じます。

そこで、英文誌編集委員会は国内での優れた研究成果を世界に向けて発信するために、積極的に投稿できるような英語論文誌が必要だと考えます。さらに、**Radiological Physics and Technology** では、著者、編集委員、査読者の共同作業によって、英語論文の原稿が改善されていくような査読方針をとることにしています。それによって、優れた研究成果を発信するだけでなく、多くの若い研究者は、英語論文の書き方を学びながら、論文を出版することができるようになると思います。したがって、会員の皆様の研究成果を、世界に発信する大きなチャンスと考えて、多くの会員からの投稿を期待しております。この英文誌編集委員長には土井邦雄先生（シカゴ大学）が就任されます。また、当学会より遠藤真広、村山秀雄の両名が副編集委員長として参加するなど、17名の会員が編集委員として加わります。投稿規定などの詳細は別報にて案内いたします。なお、従来の「医学物理」は和文を中心とした論文誌として、また、学会の活動を会員へ伝える機関誌として存続いたします。